

Rafael Guerra

Piano Recital

ラファエル・ゲーラ
ピアノリサイタル

2026年 6月 13日 (土)

14:00開演 (13:30開場)

Saturday, June 13, 2026 14:00
(Doors open at 13:30)

浜離宮朝日ホール

中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階
Tel.03-5541-8710

全席自由 5,500円

Program

マヌエル・M. ポンセ：想起

Manuel M. Ponce : Evocaciones

F. メンデルスゾーン：幻想曲 嬰へ短調 作品 28

Felix Mendelssohn : Fantasy in F-sharp minor, Op.28

M.R. アルメンゴル：レフレクショネス 第3番 思い出・第4番 音楽の庭、練習曲 第2番・第9番

Mario Ruiz Armengol : Reflexiones (No.3 Reminiscencia, No.4 Jardín de Música), Estudios (Nos. 2, 9)

ロッシーニ/リスト：ウィリアム・テル序曲

Rossini= Franz Liszt : Overture to William Tell

他

*都合により曲目を変更する場合がございます。予めご了承ください。

Evocaciones

主催/ジー・クレフ

共催/ラファエル・ゲーラ先生演奏研究会

後援/メキシコ大使館  México

お問合せ・お申込み/ジー・クレフ：Tel 04-7133-5275 office@g-clef.jp

チケット取扱先/イープラス eplus.jp (WEB/アプリ/ファミリーマート店舗)：https://eplus.jp/

朝日ホールチケットセンター：Tel 03-3267-9990

今再び、あの興奮を！ あの幻想を！

バロックから現代作品まで、時代も国や地域も変化に富む膨大なレパートリー、そしてそのいずれもがユニークな解釈で、しかも強い説得力があり、聴衆に深い感動と興奮を与える、そうした稀有なピアニストであるゲーラ氏を「巨匠」と称えるのに、いささかの遠慮も躊躇も不要でしょう。今回のプログラムには、過去のリサイタルからリクエストが多かったロッシ＝ニ＝リストの『ウィリアム・テル序曲』、メンデルズゾーンの『幻想曲』（スコットランド・ソナタ）が含まれます。それは多くの方が貴重で素晴らしい体験の火照りを、未だ熾火（おきび）のように心に宿しているということでしょう。今再び、あの興奮を味わい、あの幻想を目の当たりにできる期待と喜びを抑え切れません。それ以外に、お国ぶりのボンセのほか、マリオ・ルイス・アルメンゴルの作品も演奏されます。この作曲家の名は、まだ日本では知られているとは言えませんが、その甘美でロマンティックななかにも現代性と民族性、そして憂愁と闇をも含んだ、オシャレでピアニスティックな作品が披露されれば、弾いてみたいと思う方は多いことでしょう。ゲーラ氏のリサイタルは、新しいレパートリーを開拓したい方にとっても、今回も極めて有意義な内容となることは疑いありません。

松永 晴紀

Evocaciones 想起

ボンセは過去に訪れた土地の情景をその心情とともに書き残しました。そして、それらは時空を超えて私たちの目の前で鮮やかに甦ります。

メンデルズゾーンが描くスコットランドの風土、アルメンゴルが綴る思い出の風景、リストが語る物語の世界…まるでタイム・カプセルを紐解くかのように…それぞれの『Evocaciones』が展開していきます。

作曲家の記憶を辿る旅をみなさまと一緒にできましたら幸いです。

ラファエル・ゲーラ



Profile

メキシコの北部シナロア州に生まれ、幼少よりピアノに親しむ。メキシコ市では国際的にもメキシコを代表するコンサート・ピアニストのホルヘ・フェデリコ・オソリオに師事、その後アメリカに留学。ニューヨークのマンハッタン・スクール・オブ・ミュージックに於いて、アルカディ・アロノフのもとで学び学位を取得。オハイオ州立シンシナティ大学の修士課程に進み、ピアノをウィリアム・ブラック、室内楽をジェームス・トッコ、サンドラ・リバーズに師事する。ニューオリンズ・ピアノコンクールにて第1位、ニューヨークのコンサート・アーティスト・ギルドのファイナリスト、サン・アントニオ・ピアノコンクールにて委嘱作品最優秀賞を受賞。メキシコ、アメリカを中心にオーケストラとの共演、ソロおよび室内楽ピアニストとしても活躍したが、1997年より活動の拠点を日本に移し、ソロリサイタルや、アマデウス・アンサンブルオーケストラ、モーツァルト・アンサンブル・オーケストラとの共演のほか、黒沼ユリ子、名倉淑子、平松英子、浦川宜也、加藤知子ら著名な演奏家達との共演でも高く評価され、クライネス・コンツェルト・ハウス室内楽シリーズへも連続出演など幅広く、多方面での意欲的な演奏活動が目目を集める。2011、12、13年と続けて開かれたアドリアン・ユストゥス、黒沼ユリ子との東京・名古屋ほか各地での演奏は音楽誌でも好評を博す。2008年度には客員教授としてフェリス学院大学に招かれる。後進ピアニストの指導の他、ピアノ指導者への指導、演奏法講座などでも活躍中である。



都営地下鉄大江戸線・築地市場駅A2出口すぐ

 浜離宮朝日ホール

〒104-8011

東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

Tel.03-5541-8710

<http://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>